

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 752

政策体系	13	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 6. 保健体 - 1. 保健体 現年		
事業名	府民総体派遣事業				
細事業名	府民総体派遣事業				
評価表作成者				教育委員会 社会教育課	前田・湯浅

1. 事業の概要

京都府民総体への南丹市代表選考会（予選大会等）で、代表となった各競技選手（約300名）の激励および各種目参加に係る事業

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

スポーツ・レクリエーション活動の振興

南丹市内に在住・在勤されている競技スポーツ活動団体の交流と、市を代表して府民総体に出場する選手団を鼓舞、激励するための事業

② 事業を実施する必要性

府民のだれもが様々な形でスポーツを通じて競技し、交流することにより生涯スポーツの振興を図り、地域の活性化に資するために開催される京都府民総合体育大会の趣旨に基づき南丹市選手団を派遣し、選手団の士気高揚、モチベーションを高め応援（支援）するために実施している。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	395	393	331	164	300	300	300
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	395	393	331	164	300	300
職員等の従事人員	人/年	—	0.11	0.07	0.06			
人件費	千円	—	802	590	511			
事業費総額	千円	—	1,195	922	675			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

南丹市選手団報奨金 150,000円（報償費）

5. 事業結果の概要

第33回京都府民総合体育大会
 参加 17競技26チーム選手320人
 総合成績 11位（216点）
 入賞競技 ゴルフ 2位
 グラウンド・ゴルフ 2位
 バレーボール男子 5位
 ソフトボール男子 5位
 陸上競技 7位

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

競技力向上と生涯にわたるスポーツ活動の振興に寄与する取り組みを行った。
スポーツは「する」「みる(応援する)」「ささえる」の3つのキーワードで成り立っている。府民総体はこれらを兼ね備えた大会であることから、市町村対抗競技への全種目出場と上位入賞を目指し、選手を激励する機会を設け、支援を行う。
大会の市民へのさらなる浸透と競技団体の育成が課題である。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

競技力向上と生涯にわたるスポーツ活動の振興に寄与する取り組みを行った。
スポーツは「する」「みる(応援する)」「ささえる」の3つのキーワードで成り立っている。府民総体はこれらを兼ね備えた大会であることから、市町村対抗競技への全種目出場と上位入賞を目指し、選手を激励する機会を設け、支援を行う。
大会の市民へのさらなる浸透と競技団体の育成が課題である。

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
競技力向上と生涯にわたるスポーツ活動の振興に寄与する点。
②当該事業のアピール事項
スポーツは「する」「みる(応援する)」「ささえる」の3つのキーワードで成り立っている。府民総体はこれらを兼ね備えた大会であることから、市町村対抗競技への全種目出場と上位入賞を目指し、選手を激励する機会を設け、支援を行う。
③反省点、今後の展開・方向性等
大会の市民へのさらなる浸透と競技団体の育成が課題である。